


WAFCAホッ!とニュース

★第148号★ 2016/12/2 発行

〈発信〉認定NPO法人アジア車いす交流センター(WAFCA)
住所 〒448-0834 愛知県刈谷市司町1-2 ふれあいプラザゆきそう内
TEL 0566-23-5822(内線5990-200) FAX 0566-23-5827(内線5990-900)
E-mail ZC8WAFCA@denso.co.jp URL <http://wafca.jp>  もチェックを!
※所属などの変更の際はお知らせください。またこのニュースはE-mailアドレスをお持ちでない方に送付しています。アドレスをお持ちの方は上記までご連絡下さい。

★★★ 目次 ★★★

- [1] インドネシア フレンドシップ ツアーを行いました
- [2] タイ 車いす寄贈式を行いました
- [3] 中国 車いす・奨学金寄贈後報告
- [4] 事務局よりご報告



- ①名古屋大学留学生が WAFCA を訪問
- ②秋のイベント出展報告

[1] インドネシア フレンドシップツアーを行いました(11/16~20) ～「デンソー夢卵2016」のカードスタンドをインドネシアの子どもたちに届けました～

ツアーには12名が参加し、WAFCAスタッフとともに車いす組立、寄贈後の自宅訪問、障がい児寄宿施設での車いす寄贈式、修理をしました。施設に暮らす子どもたちと遊んだり、過去に車いすを寄贈した子どもたちと遠足にも行きました。また「デンソー夢卵2016」で日本の子どもたちが作った「雪だるま・富士山のカードスタンドと応援メッセージ」をインドネシアの子どもたちに手渡すことができました。受け取ったカードスタンドを手にもみんな素敵な笑顔を見せてくれました。詳しい報告はWAFCA REPORT(12月発行)に掲載予定です!



カードを受けとった子①
寄贈後の自宅訪問：
アディットくん(7歳)



カードスタンド作り
に取組む子どもたち(写真
上と左)と作成したカー
ドスタンド&カード(写
真下)



カードを受けとった子②
遠足に参加した
ファレリアちゃん(10歳)

活動のようす

組立スタッフ(右から2番目)との車いす組立



組立てた車いすを3名に寄贈



遠足では車いすのこどもたちの介助



[2] タイ 車いす寄贈式を行いました(11/22)

～中部カンチャナブリー県にて8名の障がい児が参加～

11月22日(火)タイ26県に住む85名の障がい児に車いすを贈り届けました。カンチャナブリー県にて贈呈式を行い、県知事をはじめ、8名の子どもたちとその保護者、WAFCA、WAFCAT関係者含めて約100名が参加しました。WAFCAT前副理事長の故政岡勲氏の奥様である絢子様も出席され、2015年に設立された「政岡基金」の運用益と奥様からのご寄付によって6名分の車いすを寄贈されました。



寄贈式に参加した障がい児と関係者の皆さん

主人はタイが大好きで、「タイに恩返しをしたい。」というのが口くせでした。そのタイの友人たちやデンソータイランドの協力により政岡基金を設立していただきました。今回、基金から初めて車いすを贈呈することができ、とても嬉しく思っています。主人もとても喜び、今日の様子を見守ってくれていると思います。(故 政岡氏奥様より)



政岡基金は今月より翌年1月末まで新規ご寄付募集をしております。詳細はWAFCA事務局までお問合せ下さい。(メール：ZC8WAFCA@denso.co.jp、電話：0566-23-5822、内線：5990-201)

[3]中国 車いす・奨学金寄贈後報告

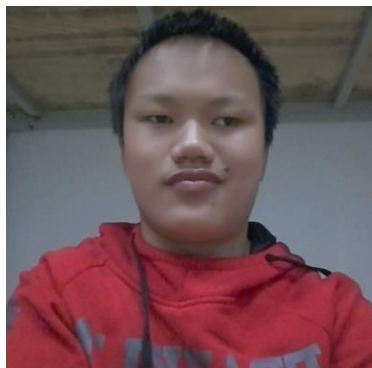
～シリーズ：WAFCAの車いすで変わった私の今～

2015年度に車いすを寄贈した雲南省 華夏中等專業学校の生徒たち13名の写真とレポートが届いています。先月号に続き今回は3名の「私の今」を紹介します。来年3月22～26日開催予定の中国フレンドシップツアーで生徒たちに再会します。



王 浩さん(23歳)

私は生まれつき右手足が不自由です。WAFCAから車いすをいただいて、これまでより自由に外出したり、電車に乗ったりできるようになりました。そのおかげで自分に自信が持てるようになり、明るくなりました。WAFCAの皆さんは私たちの人生に希望の種を蒔いてくれました。感謝します！



何 先兵さん(19歳)

私は生まれつき軽度の脳性麻痺があり、足が不自由です。祖母、両親、弟の5人家族ですが、運送業で働いている父の収入だけが頼りです。WAFCAからいただいた奨学金を本と生活費の一部に使いました。障がい者の支援をして下さる皆さんの期待に応えられるよう一生懸命勉強し、社会に貢献できるようがんばります。



幸 山川さん(18歳)

私の故郷の村は貧しく、医療も不足しています。私は幼い頃病気になる、身体に障がいが残りました。障がいのため何度も勉強を諦めようとしたましたが、華夏中等専門学校に入学し、車いすを受け取ることができ感謝しています。これから私は、助けを必要としている人の力になれるよう一層勉強します。

[4] 事務局よりご報告

①名古屋大学の留学生がWAFCAを訪問(11/11)

タイ、カンボジアなど東南アジア出身の留学生22名が「次世代国際協カリーダー研修」で、WAFCA事務所、車いす病院を見学しました。彼らは車いす寄贈や修理活動に共感し、「今後も活動を続け、広げていってほしい」と感想を述べてくれました。



②11月 秋のイベント出展報告

11/6(日)デンソー大安製作所で行われた「美し国33グルメフェア」に出展しました。デンソーグループハートフルフレンドさんとワイヤーアート教室、チャリティ商品販売を行い、多くの子どもたちに楽しんでもらえました。

